

感染症情報 3月24日～30日

府下小児科192医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1,533例(堺市	140例)
②RSウイルス感染症	226例(堺市	19例)
③溶連菌感染症	195例(堺市	31例)
④伝染性紅斑	73例(堺市	5例)
⑤水痘	43例(堺市	3例)

府下300医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 573例(堺市 29例)

報告数による順位。前週比12.4%減の2,183件。感染性胃腸炎が府下で前週から14%減、堺市で前週166例→今回140例。RSウイルス感染症が府下で19%減、堺市で前週26例→今回19例。溶連菌感染症が府下で4%減、堺市で前週36例→今回31例。定点当たり大阪府で1.02、堺市は1.63。伝染性紅斑が府下で55%増で、定点当たりは豊能、大阪市東部、南河内ブロックの順であった。堺市で前週3例→今回5例。水痘が府下で23%減、堺市で前週4例→今回3例であった。

インフルエンザが府下で前週606例→今回573例で5%減。堺市は前週45例→今回29例で36%減。定点当たり大阪府は1.91、堺市は1.00であった。

府下300医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 623例(堺市 61例)
大阪府定点 2.08 堺市定点 2.10

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
32	47	29	46	44	48	53	88	52	93	91	623

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回668例→今回623例で7%減、定点当たり2.23→2.08であった。堺市で前週71例→今回61例で14%減、定点当たり2.45→2.10であった。

麻疹の報告が南河内ブロック(藤井寺市や富田林市周辺)で1件あった。風疹の報告はなかった。